

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念について、フロアの各所に掲示し、共有を図り、職員への意識付けを行っている。理念に基づきサービスを実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者が六月灯や地域の夏祭りに参加したり、事業所が参加する法人の運動会に、地域の方々をお招きしたりして地域との関わりを作っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議などを通して、地域での認知症講習会などを提案している。まだ、実践はないが、依頼があれば積極的に取り組みたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの行事や研修の報告を行うと共に、参加者の意見もいただいている。また、地域の困りごとについても意見をいただき、共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者と日頃から連携を取っている。事業所の実情についての報告や相談等を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、職員研修等を定期的に行い、身体拘束ゼロを実施している。玄関等の施錠は行わず、見守りの徹底を行い、無断退去等を防止している。		
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止についても、職員研修や教育等を行っている。虐待の種類等もしっかりと把握し、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についても、制度の理解など研修等で学ぶ機会を設けている。利用者を擁護する公的な制度を把握し、必要に応じて関係者と話し合い、活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時は契約書や重要事項の説明を分かりやすく行い、ご理解を得ている。改定の際には家族会を実施して十分な説明を行い、再記入と捺印をいただいている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見・要望は日々の会話を通して記録している。内容によりカウンターフィアレンス等で話し合いを設けている。ご家族の意見は面会時や家族会で伺うようにしている。意見に関しては法人で協議し、場合によっては運営規定等に反映させている。			
11 7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は職員会議等での意見交換や個人的な相談などを積極的に受け、業務等に反映できるよう努めている。管理者の一存で判断できない場合は事務長等に相談を行っている。			
12	○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	できる限り残業をしない体制作りを行っている。また、記録の書式など職員の要望などを取り入れながら作成している。夜勤や日勤など偏りが出ないように配慮している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1回は事業所内研修を開催し、持ち回りで担当を決めている。教える立場を経験することで、より深い知識を学ばせている。外部研修にも、参加させ、専門的知識を養っている。			
14	○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会などが主催する研修に積極的に参加し、他施設職員との交流や意見交換も行えている。近隣地域の、地域密着型サービスの意見交換会やネットワークを構築できている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の面会を行い、担当のケアマネや家族、本人から要望や困りごとの聞き取りを行っている。信頼関係が築けるよう笑顔や言葉遣いに気をつけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の困りごとや心配事を伺い、ケアプランや入所後の対応に反映させている。入所して間もない時期は、こまめな連絡を行い、状況を伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時のアセスメントをしっかりと行い、ニーズを明確に捉え、優先的に支援が必要なものケアプランに反映させている。主治医の変更を行う場合は、混乱の少ないよう声かけを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常日頃より人生の先輩としての敬意を払っている。本人からは経験に基づく諸事を教えていただき、職員は本人が出来ない部分の支援を行っている。共に支えあえる関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話にて本人の様子を報告したり、家族も一緒に参加できる行事を行っている。家族の協力を得ながら本人を支えていく関係が築けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族を通して年賀状のやり取りをしたり、家族から知人の面会を促してもらう事により、馴染みの関係が途切れないよう支援を行っている。また、馴染みの場所に散歩に出かけるように努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの性格や係わり合い等を把握しており、トラブル防止に努めている。また利用者同士の交流が図れるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	当施設での対応が困難になった場合、次の施設や病院を探し、繋げるところまで責任を持って行っている。入院後も状況確認を行い、相談等を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人から直接聞き取りを行ったり、日々の会話や様子から本人の思いを慮るように努めている。昔の趣味や特技等から楽しめそうな取り組みを行い、豊かな暮らしを送れるように努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人との会話を通してこれまでの生活歴を知ったり、家族や情報提供書でこれまでの生活歴やサービス利用状況を把握し、生活しやすい環境の提供に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>しっかりとアセスメントを行い、職員間で情報を共有する事により、一人ひとりの心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎日の職員間での申し送りやケアカンファレンス、職員会議等でしっかりと情報交換を行っている。また、本人や家族に定期的に要望の聞き取りを行っている。他部署との連携も図り現状に即した介護計画を作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子やその時に応じた介助方法等を個別記録に残し、職員間で情報を共有している。変化がある時にはその都度話し合いを行い、介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時に生まれるニーズに対して、全ての要望には対応できないが、できる限り柔軟な支援やサービスを提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、地域資源(友人や町内会、成年後見制度等)との係わり合いを持ちながら利用者本人の力を発揮し、安全で豊かな暮らしを楽しむ事ができるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隔週で土橋病院の医師の訪問診療を受けており、体調確認や薬の処方等を行っている。専門病院の受診が必要な際には、紹介状等にて情報交換を行い、適切な医療を受けられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事業所内に看護師の配置はしていないが、訪問看護師が定期的に訪問している。介護職員との情報交換を行い利用者の健康管理を行っている。また、必要時には24時間いつでも相談できる体制を取っている。(医療連携体制加算を算定している。)			
32	○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院先の相談員や医療関係者との情報交換を行い、治療状況や入院期間などの把握を行っている。専門病院の受診を行った際に担当していただいた病院の関係者と、情報交換を行ったり相談に努めている。			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく	重度化した場合の指針を説明し、同意をいただいた上で利用していただいている。当施設での看取りは基本的には行っていない。利用者の身体機能や病状が悪化した場合は、医療機関や対応できる施設への転居をお願いしている。転居先を探し、繋げるところまで責任を持って行っている。しかし、今後は当施設でも看取れる体制をつくっていく予定である			
34	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時に備えてマニュアルを作成し掲示している。定期的な勉強会を行い、職員各人が緊急時に冷静に対応できるスキルを身につけるように努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害マニュアルを作成してフロアに掲示している。当施設はビルの4～6Fにあるため災害時のリスクも高い。避難訓練は定期的に行っているが、災害時に職員が冷静に対応できるスキルを身についていくように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	一人ひとりに対し、尊敬の念を持ってケアを行っている。誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	言葉だけではなく、表情や仕草から本当の思いや希望を受け止められるように努めている。本人の希望が言いやすい雰囲気作りや職員との信頼関係作りに努めている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	出来るだけ本人のペースで毎日が過ごせるように、寄り添う介護を心がけてはいるが、入浴時間や食事の時間等はある程度統一させていただいている。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	本人が好みの服装を選べるように声かけと支援を行っている。行事時に希望者にはお化粧をしていただき楽しんでもらっている。		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	一人ひとりが持つ能力に合わせて食事の準備や台拭き、食器拭きも行っている。好みの献立も取り入れながら職員も一緒にテーブルで楽しく食事をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に応じた形態での食事提供を行っている。状況に応じて栄養補助食品の活用や分食を行って、必要な水分と栄養の摂取ができるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に歯磨きの声かけを行い、口腔ケアを実施している。自立の方には見守りと必要な方には仕上げ磨きを行い、できない方に対しては口腔ケアの介助支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はトイレで排泄できるようにトイレ介助や定時の誘導を行っている。夜間は各人に応じた排泄支援を行っている。排泄介助に関しては、羞恥心に配慮しながら排泄状況の確認も行っている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に対する勉強会を定期的に実施している。排便を促す飲食物を提供したり、体操やマッサージを施行するなど各人に応じた便秘の予防に取組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は体調の確認をしながら基本的に週3回実施している。（冬場は週2回と入浴の無い日は足浴の実施）入浴日や時間は決まっており、一人ひとりの意向には添えていない現状である。		
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分の好きな時間に休息がとれるようにしている。眠れないときや不安が募るときなどは、一緒におしゃべりをしたり傾聴を行い、安心して眠れるように支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各人、薬局からの居宅療養管理指導を受けている。一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量についての理解を深めるように努めている。また、服薬支援や症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や本人が持つ力は把握している。望んでいる役割や楽しみ事は何かを考えてレクレーション等を提供している。今は個々への対応はできていないが、一人ひとりに対応できるように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	個別での希望に沿った外出はなかなか行えていないが、集団での外出支援を月に一回程度行っている。利用者と家族との外出時の支援も行っている。天気がよく暖かい日には、近隣や近くの公園等へ散歩に出かけて地域との交流ができるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人のお金は基本的に事務所にて預かっている。本人が安心できる程度に、家族が小銭程度のお金をお財布に入れているときもある。自分で好きなものを買ったり食べたりできる外出支援も行っている。			
51	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	個人に来た手紙は本人に渡して読みやすいように一緒に整理している。ホームの電話を使用して家族と直接話をする事がある。			
52 19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの明かりや光の調整を行ったり、季節に合わせて温度や湿度を調整して居心地の良い空間作りに努めている。四季を感じられるように皆で掲示物を作成して飾っている。			
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内では一人でゆっくりテレビを見たりおしゃべりをしたり、ソファーに座ってゆっくり過ごしたりと各人の過ごし方を尊重している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	本人が安心して生活できるように、使い慣れたものをできるだけ持参されるように声掛けを行い、趣味のものを飾ったりして、過ごしやすい居室作りに努めている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	各人の状態を把握した上で、能力に応じた声掛けや介護を行い、安全に配慮しながら自立した生活が送れるように支援している。		

## V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない

			1 ほぼ全ての利用者が
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)		2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない